



NEWS LETTER

名古屋 YWCA 国際交流会
2017年12月

早いものでもうすぐ今年も終わり。なにかと慌ただしい季節ですが健康には十分注意をして、新しい年を迎えましょう！



活動報告

おしゃべり広場

11月20日、偶然にも2人の卒業生が遊びにきてくれました。みなさんがときどき遊びにきてくれる時がおしゃべり広場を長く続けてきたプレゼントのようです。

おしゃべり広場イベント

カルタで遊ぼう

日時：10月23日（月）12:40~13:30

いろはカルタと百人一首の坊主めくりを楽しみました

みんなでワイワイととても盛り上がりました



風呂敷の包み方

日時：11月20日（月）12:40~13:30

箱を使った基本の包み方を始め、ワインなど瓶の包み方、バッグやリュックの作り方などをみんなで楽しく学びました



折り紙

日時：12月18日（月）12:40~13:30

来年の干支の犬を始め、定番の鶴、作ってから盛り上がる独楽をみんなで折りました



外国人が話す日本語サロン

「東欧の親日国：ウクライナ」

日時：9月9日（土）10:30~12:00

ゲスト：トゥルブニコヴァ マリーナ さん

参加者：30名

日本語学校行事

卒業式

日時：9月27日（木） 9:15~

クリスマスパーティ

日時：12月15日（金） 9:15~

参加者：3名

国際交流会恒例のハンドベルは人手が足りず、学生さん2人に手伝ってもらいました

名古屋大学関連

NUFSA バザー30周年パーティ

9月10日(日) 参加者: 3名

登録手伝い

9月21日(木)~27日(水) お手伝い 延べ15名

NUFSA バザー電話当番

9月26日(火) お手伝い 8名

NUFSA バザー前日

9月29日(金) お手伝い 3名

NUFSA バザー当日

9月30日(土) お手伝い 5名

地域連絡会(バザー反省会)

10月14日(土) 参加者 3名

関わってくださった方、お疲れ様でした

お料理教室

お好み焼きとたこ焼きを作ろう

日時: 11月14日(火) 13:30~3:00

参加者: 学生6名、国際交流会会員4名

キャベツの千切りがざく切りになったりしましたが、最後はおいしいお好み焼きができました。たこ焼きもみんなが上手にまん丸く作ることができ大好評でした。



YWCA バザー

日時: 10月6日(金)

生憎の雨でしたが、たくさんの方が来場されました

お手伝いされた方、お疲れ様でした

これからの予定

おしゃべり広場

12月18日が今年の最終でした

来年は1月15日からスタートします

外国人が話す日本語サロン

日時: 3月3日(土) 10:30~12:00

ゲスト: プラティバさん(インド)

チラシは作成次第郵送させていただきます

世界の料理教室

日時: 1月26日(金) 10:00~13:30

アメリカ人の女性にメキシコ料理を教えてください

参加される方は事前にご連絡ください

新会員

3月までの予定ですが、強力な戦力になってくださっています

1991年独立

2013年暴動勃発——現在も2つの州で紛争が起こっている

経済：GDP（1人当たりの国内総生産）は独立後悪化。2000年頃に上昇。2010年に下がる

料理：ボルシチ

ホルブチー（キャベツロール）

ヴァレニキ（ジャガイモや肉などが入った餃子のようなもの）

サーロ（豚肉の脂身の塩漬け）

パンケーキ（ジャム、カッテージチーズ、肉など）

ウズヴァール（ドライフルーツの入った飲み物）

伝統的な家：藁ぶき屋根

家の中にオーブンがある

民族衣装：ヴィシヴァーンカ——白い布に赤（血）、黒（土）の刺繍を施したもの
刺繍はお守りの意味がある

ルシニーク（手ぬぐいのようなもの）

行事：12月19日聖ニコライの日——1年間いい子だったら枕の下にプレゼントがある

1月7日クリスマス——イブに12種類の食事を作る

ヴェルテップという人形劇が演じられる

コリャデウヴァーンニャ（クリスマスキャロル）

マースニチャ——人形を作って燃やす（冬にさようならの意味）

パンケーキにバターをかけて食べる

イースター——パン、卵（ピーサンカ）、塩、肉、チーズ、牛乳、パンケーキ（クリーチ）を食べる

徹夜祈が行われる

〔質疑応答〕

教育制度：ソ連時代から少し変わった

義務教育は10年から12年になった

東部ではロシア語が話されるが、教育は以前からウクライナ語

女性の地位：産休制度はきちんとしている

モンゴルの影響：言葉のなかに今でも残っている

ウクライナ正教：ロシア正教との違いはトップにいる人の違い

日本を選んだ理由：言葉がきれいで文化が好きだから

治安：東部は危険で入ることができないが、他の町は安全



民族衣装のヴィシヴァーンカを着て、とても元気に自国の紹介をしてくださいました。大学卒業後は日本で就職したいそうです。